

令和８年より気象の警報などが大きく変わりました

防災気象情報 いつ逃げる？ レベルで判断！

避難の判断がよりしやすく

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル５相当	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報
警戒レベル４相当	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報
警戒レベル３相当	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報
警戒レベル２	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報
警戒レベル１	早期注意情報			

POINT!! 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルを付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になりました。

【変更例】

（旧）「大雨警報」

→（新）「レベル３大雨警報」

警戒レベル３（高齢者等避難）に相当

POINT!! 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止され、河川の区分に応じた伝え方に変わりました。

【変更例】

（旧）「洪水警報」

→【洪水予報河川※】（新）「レベル３氾濫警報」

→【洪水予報河川以外の河川】（新）「レベル３大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル５氾濫特別警報」が新設されました。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

POINT!! 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

（旧）「土砂災害警戒情報」

→（新）「レベル4土砂災害危険警報」

CHECK!! 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表されます

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表されます。

【変更例】

（旧）「顕著な大雨に関する気象情報」

→（新）「気象防災速報（線状降水帯発生）」

（旧）「記録的短時間大雨情報」

→（新）「気象防災速報（記録的短時間大雨）」

気象庁 Japan Meteorological Agency
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）

詳しくはこちら

避難のタイミングは レベルで判断



災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～1日前

半日～数時間前

数時間～3時間前

2時間～0時間前

災害発生

レベル1早期注意情報　・災害への心構えを一段高める

レベル２注意報
・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
・市町村から発令される避難情報の把握手段を再確認する

レベル３警報

レベル４危険警報

レベル５特別警報

市町村は防災気象情報などを参考に避難情報を発令

市町村が発令する避難情報

警戒レベル３ 高齢者等避難
危険な場所から高齢者等は避難
・避難に時間がかかる方は危険な場所から避難する
・その他の方も必要に応じ避難準備や自主避難する

警戒レベル４ 避難指示
危険な場所から全員避難
・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく

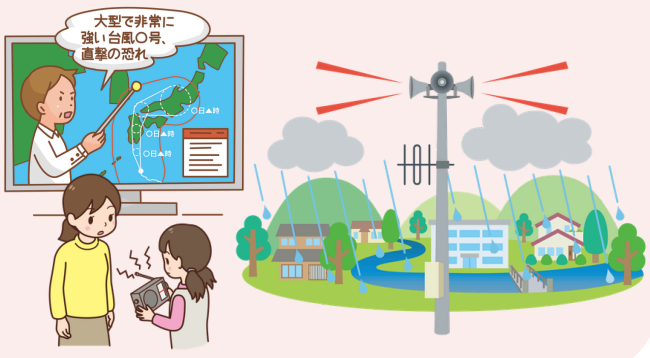
＜警戒レベル４までに必ず避難！＞

警戒レベル５ 緊急安全確保
命の危険　直ちに安全確保！
・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
・今いる場所よりも少しでも安全な場所へ

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

災害の情報、どう受け取る？

警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。

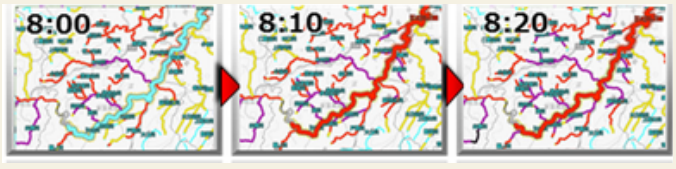


このあとどうなる？をチェックしよう

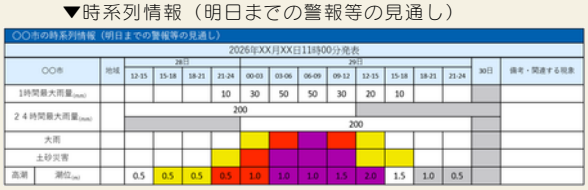
警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。

キキクル　検索

▼キキクル画面イメージ　10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）



気象庁 Japan Meteorological Agency
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）